

**災害時！ 情報保障は命を救う！**

**～ 東日本大震災と熊本地震からみる  
聴覚障害者への支援・配慮とは ～**

**小金井市聴覚障害者協会  
会長 荒井 康善**

**2017年10月28日(土)**

## ■ 東日本大震災・熊本地震の状況を見て…

- 聴覚障害者が大地震に遭遇したときに、どのような問題が発生するのでしょうか？
- 聴覚障害者が地震に遭った時にもっとも苦勞する事とは？  
というと、  
**「情報が聴覚障害者にまったく伝わらない」** ことです。
- 東日本大震災の時にも仮設住宅の申込などの情報が、避難所にいる聴覚障害者に伝わらず、入り遅れてしまった聴覚障害者もいたと聞いている。

# ■ はじめに知ってほしいこと

- ▶ 聴覚障害は「情報障害」と「コミュニケーション障害」
- ▶ 聴覚障害者（身体障害者手帳保持者）は  
約34万3千人  
障害の状態やコミュニケーション方法は人により、さまざま。  
共通していることは？
- ▶ 「困ること」について、  
聞こえる人と聴覚障害者の微妙なズレ

# ■ 熊本地震から考える

## ▶ 前例のない地震

震度 6 弱以上の地震が **3 日間で 7 回も起きた。**

**2000年～2015年** 震度 6 弱以上は 19 回。(年1～2回ベース)

震源地である益城町では

14日(前震) 16日(本震) ともに震度 7 を記録

同地点で 2 回観測は史上初

## ▶ 長く続く余震

半年間で震度 1 以上 4081 回

強い恐怖感が続く → 精神的な疲労が強い

関連死 発生時から11月6日まで 137 名

車中泊、エコノミー症候群、軒下避難

# ■ 情報・コミュニケーションで困った（熊本地震）

## （1）避難所での問題

- ・ 避難所に手話通訳者設置を希望
- ・ 避難所での情報・コミュニケーション問題
  - ✓ 口頭での説明がわからない
  - ✓ 声かけ程度しかなかった
  - ✓ 音声での放送のみ
  - ✓ 食糧の配給が分からなかった（時間、場所、配給内容など）
  - ✓ 回りと話が通じない
  - ✓ 手話ができる人がほしい
  - ✓ トイレ・給水所が分かるようにしてほしい

# ■ 情報・コミュニケーションで困った（熊本地震）

## （２）避難所外で、情報・コミュニケーションに困った

- ✓ 地域から連絡がない
- ✓ テレビに全部字幕を付けてほしい
- ✓ 手話ができる人の訪問がほしい
- ✓ 町内放送が音声でわからない
- ✓ 救援物資の情報が入らなかった
- ✓ 広報車のアナウンスがわからない
- ✓ 近所に手話ができる人がほしい
- ✓ 避難所の場所が分からなかった

# ■ 被災聴覚障害者の声（熊本地震）

## 生活等に不安がある

- ✓ 夜に眠れない、たびたび目が覚める
- ✓ 精神的に疲れている、専門家のケアをお願いしたい
- ✓ 心が壊れた
- ✓ 夜も補聴器を付けてままにしている
- ✓ エレベータに乗れない

# ■ 被災聴覚障害者の声（熊本地震）

## 家のことが心配

- ✓ 地震で家が崩壊した
- ✓ 住むことができるか
- ✓ 修理するか、建て替えるか
- ✓ どこに相談すればいいのか

## 仕事のことが心配

- ✓ 職場が壊れ復職できないかも
- ✓ 職場から給料が出なくなった
- ✓ 仕事をしたいけど、ない



# ■ 手話通訳者や要約筆記者も被災者になる…

- 震災が起こると、  
**手話通訳者や要約筆記者も被災者になる。**
- 近所の人や周囲の人の助けを求めていかないと、避難所の生活を送っていくのが難しく、サポートが聴覚障害者にまで届きにくい現状がある。
- **発災当日は手話通訳・要約筆記等の情報保障はきわめて厳しい状況。**

# ■ 東日本大震災から考える

## ▶ 東日本大震災における障害者の死亡率 (NHKハートネット調べ)

【全体：0.78% 障害者全体：1.43%】

知的障害：0.57% 視覚障害：1.53%

聴覚障害：1.36% 肢体不自由：1.26%

精神障害：0.81%

## ▶ 東日本大震災の被災聴覚障害者の体験

- ・聴覚障害者災害救援中央本部に寄せられた被災聴覚障害者の体験記（『守ろうLIFE』から）

# ■ 東日本大震災被災聴覚障害者体験記 その1

## ▶ 情報障害とコミュニケーション障害があらわになる

Aさん 「メガホンを持った男が何か叫んでいて、  
私は耳が全く聞こえないので、  
他の群衆の後について移動しました」

Bさん 「津波が来るとは思ってもみませんでした。  
近所の手助けは殆どなく、助けが欲しいとは感じつつも  
情報がないので、片付けを続けていました」

Cさん 「耳が聞こえないんですけど、何ですか？とメモを駅員さんに見せたが、駅員さんは何か言って指差している」

## ■ 東日本大震災被災聴覚障害者体験記 その2

### ▶ 地域のつながりと障害に対する理解が生死を分ける

Aさん 「ドンドン！！と戸を激しくノックする

隣近所の男性の姿に気づきました。

その方に口形で「つなみ！」と言われました」

Bさん 「妻は、銀行の窓口で引き出したお金を受け取った瞬間、被災。

事務員の女性は、いつも妻がここを利用するのを知っており、

妻に向かって身振りで「待って」と伝えました」

# ■ 東日本大震災被災聴覚障害者体験記 その3

## ▶ 聞こえない、コミュニケーションができないため、避難所で孤立

Aさん 「19時頃、みんなが騒ぐ。アナウンスがあったが何かわからない。補聴器にはいろいろな音が入っているが、アナウンスなのか、人の声なのか、足音なのか、ものが動いた音なのかさっぱりわからない。どうやら、食事がくばられてるよう。みんなが次から次へにご飯を持っている」

Bさん 「配給などの情報が分からなく、みんなが並んでいる時など周りを見て、マネをするだけでした。アナウンスはされているが分からない、黒板などに書いてもらえれば助かるなと思いました」

# ■ 東日本大震災・熊本地震からみて感じること

## ① 東日本大震災・熊本地震からみて感じること

1. ネットワーク作りの重要性
2. 国、地域行政との連携
3. 社会資源（情報提供施設）の活用
4. 障害者団体との連携

## ② 原発問題は全国共通の問題

## ③ 防災体制、救援体制の強化を図るために

1. 自助、共助、公助を高める
2. 社会資源（手話通訳者・要約筆記者）の活用
3. 地域とのつながり → 知ること、関心を持つ、防災体制作り

# ■ 災害は多様化している

## ▶ 災害は多様化している

これまでの大地震中心の対策から、集中豪雨や竜巻、噴火といった地域性を踏まえた、いろいろな災害に対応する必要性あり。

今後起こり得る「**災害の大きさ**」を**シミュレーション**する。

## ▶ 減災対策は3つのステージに分かれるのではないか

①事前対策 ②災害時 ③生活再建

これらを考えるにあたり、障害者主体で。

# ■ 事前対策は「地域のコミュニティ」づくり

- ▶ 地域に、聴覚障害者がどのくらいいるのかを知っているか？
- ▶ 地域が、聴覚障害者の特性と手話コミュニケーションを日常から理解し、ニーズを共有できているか？
- ▶ 地域が、いざとなったらどのように支援していくのかイメージができているか？
- ▶ 地域が対応できることと、外部支援をお願いする必要があることのすみわけがきちんとできているか？

**これらを進めるにあたり、当事者である障害者が参画し、協議していかなければなかなか進まない**



# ■ 災害対策は「環境」づくり

- ▶ 聞こえないこと、支援が必要なことについて、地域や周囲は知っているか？

→ 周知、理解の働きかけ

- ▶ **平常時**や災害時でも「情報伝達」「情報取得」は容易か？

→ **障害の有無に関係なく、命を守る機会**

- ▶ 本人が、聴覚障害者であること、支援がほしいことを、**平時から**意思表示ができていますか？

→ **地域に参加する機会、環境づくり**

# ■ 生活再建は一番重要なこと

## ▶ 生活再建にも情報障害、コミュニケーション障害が障壁となる

- ① 避難所から仮設住宅へ（地域コミュニティの分断）
- ② 生活の再建のためのさまざまな制度（情報取得の壁）
- ③ 孤独死、自死を防ぐためにメンタル面のケア  
（コミュニケーションの壁）

行政や民間団体によるさまざまな支援活動が行われるが、  
**聴覚障害者は情報障害、コミュニケーション障害が障壁となる**

## ■ 改めて「支援」について考える

- ▶ 地域や社会に障害者がどこまで参加できているかが、災害時にあらわとなるのではないか。
- ▶ 災害を前にすれば、聞こえる人も障害者も同じ被災者。障害の程度はさまざまであるが、支援が必要な「弱者」
- ▶ 防災・避難対策や避難所は、だれのためにあるのか？  
最弱者を基準にして対策をしていけば、自然と全ての人に対して有効なものとなるはず

# ■ 私たちは何をすべきか？

- ▶ 障害者の支援体制を高める、地域に参加できる環境づくり
- ▶ 防災・避難対策や避難所は、最弱者を基準として
- ▶ 具体的に「それではどうするのか？」「何をすべきか？」を考え、少しずつでも実行していく

**「防災対策」の難しさは、災害が「非日常」であるから  
いかに、「日常」に防災を取り組んでいくか**

ご静視、ご静聴、ありがとうございました

